

東洋水産から株主の皆様へ 2014年4月1日～2014年9月30日

# 第67期中間報告書





いむら まさなり

代表取締役社長 **今村 将也**

株主の皆様におかれましては、日頃よりご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

当社第67期第2四半期決算を終えましたので、営業の概況をご報告申し上げます。

## 当中間期の概況（連結）

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果や雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調となっておりますが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れ等、景気を下押しするリスクも依然として存在しております。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All.すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減

並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は180,833百万円（前年同四半期比2.6%増）、営業利益は10,653百万円（前年同四半期比23.3%減）、経常利益は11,342百万円（前年同四半期比22.0%減）、四半期純利益は7,775百万円（前年同四半期比34.2%減）となりました。

株主の皆様には、引き続きご一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2014年12月

## 連結決算ハイライト

### 売上高(百万円)



### 経常利益(百万円)



### 当期純利益(百万円)



## 水産食品事業



水産食品事業は、主要魚種であります鮭、魚卵、マグロ等を中心に付加価値商品の開発を行い、量販店・コンビニ等へ積極的に販売を行ってまいりました。中でもタラコ・明太子の販売が好調に推移し、その結果、売上高は17,273百万円(前年同四半期比6.6%増)となりましたが、主要魚種の販売において原料価格上昇分を製品価格に十分に転嫁できなかったこと、アジ・サバ等の近海魚の不漁が響き前浜事業が不振だったこと等により、セグメント損失は81百万円(前年同四半期はセグメント損失8百万円)となりました。

## 海外即席麺事業



海外即席麺事業は、主力商品の積極的な販促活動や新製品導入、大手量販店との連携強化を行ってまいりましたが、主要顧客層である中・低所得者層の節約傾向、小売の在庫圧縮等、売上鈍化の影響が続いております。その結果、現地通貨ベースでは減収となりましたが、円安の影響により、売上高は38,860百万円(前年同四半期比10.2%増)となりました。セグメント利益は、円安効果はありましたが、積極的な販促活動により販売促進費が増加したこと、3月からのマルチャンテキサス、INC.新工場稼働による固定費が増加したこと等により、5,220百万円(前年同四半期比15.9%減)となりました。

## 国内即席麺事業



国内即席麺事業は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動を受け、上期は厳しいスタートとなりました。そのような中、カップ麺では主カブランドの「赤いきつねうどん」「緑のためぎ天そば」等和风カップ麺シリーズや、ノンフライカップ麺「麺つくり」を中心に積極的な販促活動を行ったことにより好調に推移しました。袋麺は競争激化を背景とした「マルちゃん正麺」販売減の影響により減収となりました。その結果、売上高は51,071百万円(前年同四半期比5.0%減)、セグメント利益は原材料価格の高騰の影響もあり、3,066百万円(前年同四半期比31.3%減)となりました。

## 低温食品事業



低温食品事業は、生麺は主力品である「マルちゃん焼そば3人前」の消費者キャンペーンの実施や季節限定フレーバーの投入等積極的に販促強化に取り組んだ結果、焼そば類が堅調に推移しました。また、生ラーメン類も昨秋のリニューアルから引き続き好調に推移したことにより、生麺全体では前年を上回る結果となりました。冷凍食品

類では、市販用の「ライスバーガー」「大盛焼そば」の拡販と共に、外食産業や惣菜向けの販路拡大に努め、順調に推移しました。これらの結果、売上高は34,583百万円(前年同四半期比4.7%増)、セグメント利益は1,905百万円(前年同四半期比8.0%増)となりました。

## 加工食品事業



加工食品事業は、米飯は無菌米飯が堅調に推移したこと及びレトルト米飯でアイテムを豊富に取り揃えたことにより、売上を伸ばしました。フリーズドライ製品は、5食入りパックを中心に堅調に推移しました。魚肉ハムソーセージは、主力のソーセージが順調に売上を伸ばしました。調味料類、削り節は市場の低迷もあり、売上が減少しました。その結果、売上高は8,603百万円(前年同四半期比0.2%増)、セグメント利益は、原料米の価格が安定してきたこともあり、111百万円(前年同四半期はセグメント損失103百万円)となりました。

## 冷蔵事業



冷蔵事業は、円安基調や仕入れ価格の高騰により、原料系の輸入商品の取扱量及び保管在庫量が減少しましたが、輸入冷凍食品や国内貨物の積極的な集荷活動を行い、売上高は7,957百万円(前年同四半期比0.3%増)となりました。セグメント利益は、4月より稼働した東扇島自動倉庫の減償却費及びその他諸経費の増加により、529百万円(前年同四半期比30.5%減)となりました。

## その他

その他は、主に弁当・惣菜事業であります。売上高は22,516百万円(前年同四半期比4.4%増)、セグメント利益は202百万円(前年同四半期比78.8%減)となりました。

### 事業セグメント別売上高構成比





## 連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期 連結会計期間 2014.9.30	前連結会計年度 2014.3.31	
資産の部	<b>流動資産</b>	<b>167,928</b>	<b>164,904</b>
	現金及び預金	55,271	54,082
	受取手形及び売掛金	47,031	48,989
	繰延税金資産	1,753	1,822
	その他	64,358	60,511
	貸倒引当金	△487	△501
	<b>固定資産</b>	<b>145,555</b>	<b>143,882</b>
	有形固定資産	118,981	119,179
	無形固定資産	2,815	2,408
	投資その他の資産	23,757	22,293
<b>資産合計</b>	<b>313,483</b>	<b>308,787</b>	
負債の部	<b>流動負債</b>	<b>47,571</b>	<b>50,669</b>
	<b>固定負債</b>	<b>22,639</b>	<b>21,181</b>
	<b>負債合計</b>	<b>70,211</b>	<b>71,851</b>
純資産の部	<b>株主資本</b>	<b>227,516</b>	<b>222,683</b>
	資本金	18,969	18,969
	資本剰余金	22,516	22,516
	利益剰余金	194,248	189,404
	自己株式	△8,218	△8,207
	<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>5,888</b>	<b>881</b>
	その他有価証券評価差額金	3,987	3,281
	繰延ヘッジ損益	39	11
	為替換算調整勘定	1,364	△2,800
	退職給付に係る調整累計額	496	390
	<b>少数株主持分</b>	<b>9,867</b>	<b>13,371</b>
	<b>純資産合計</b>	<b>243,272</b>	<b>236,936</b>
	<b>負債純資産合計</b>	<b>313,483</b>	<b>308,787</b>

## 連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期 連結累計期間 2014.4.1～2014.9.30	前第2四半期 連結累計期間 2013.4.1～2013.9.30
<b>売上高</b>	<b>180,833</b>	<b>176,310</b>
売上原価	117,479	109,950
<b>売上総利益</b>	<b>63,354</b>	<b>66,360</b>
販売費及び一般管理費	52,700	52,468
<b>営業利益</b>	<b>10,653</b>	<b>13,891</b>
営業外収益	938	869
営業外費用	249	223
<b>経常利益</b>	<b>11,342</b>	<b>14,537</b>
特別利益	598	3,747
特別損失	101	78
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>11,839</b>	<b>18,206</b>
法人税、住民税及び事業税	3,983	6,237
法人税等調整額	△56	△45
<b>少数株主損益調整前四半期純利益</b>	<b>7,913</b>	<b>12,014</b>
少数株主利益	137	204
<b>四半期純利益</b>	<b>7,775</b>	<b>11,810</b>

## 連結包括利益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期 連結累計期間 2014.4.1～2014.9.30	前第2四半期 連結累計期間 2013.4.1～2013.9.30
<b>少数株主損益調整前四半期純利益</b>	<b>7,913</b>	<b>12,014</b>
<b>その他の包括利益</b>	<b>5,089</b>	<b>3,203</b>
<b>四半期包括利益</b>	<b>13,003</b>	<b>15,218</b>
（内訳）親会社株主に係る四半期包括利益	12,782	14,998
少数株主に係る四半期包括利益	220	219

## 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期 連結累計期間 2014.4.1～2014.9.30	前第2四半期 連結累計期間 2013.4.1～2013.9.30
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>13,365</b>	<b>14,881</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△31,514</b>	<b>△37,533</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△6,223</b>	<b>△3,408</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	944	717
現金及び現金同等物の増減額	△23,427	△25,342
現金及び現金同等物の期首残高	47,420	51,341
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>23,993</b>	<b>25,998</b>

4 0 T H A N N I V E R S A R Y

## おかげさまでカップ麺発売40周年

1974年に当社初のカップ麺「ホットラーメン」が発売されてから40年。品質改良、具材のバリエーションなどで進化を遂げてまいりました。当社カップ麺事業の成長のカギとなった、主力商品の一部と記念商品をご紹介します。



### 1974

ホットラーメン しょうゆ味

東洋水産初のカップ麺として発売されました。

35TH ANNIVERSARY

DEBUT

NOW

### 1979



焼そばバゴーン

現在は東北・信越地方限定発売の人気商品。人気を集めた最大の要因は別添しているスープで、1981年から中華スープ、1984年からは現在のあっさりとした飲みやすい味わいのわかめスープとなっております。

25TH ANNIVERSARY

DEBUT

NOW

### 1989



でかまる

「味もマル、具もマル、量もマルのおいしさ3重マル」のキャッチコピーで発売された大盛カップ麺です。現在でも人気の高い「もやし味噌ラーメン」をはじめとしたラインアップでした。

1970

1980

1990

### 1978

DEBUT

NOW



赤いきつねうどん

だしの利いたつゆにコシのある

麺、大きなお揚げを組み合わせたおいしさで、長く愛されている商品です。現在では地域別に北海道・東日本・関西・西日本の4つの味で展開しております。

### 1980

DEBUT

NOW



緑のためき天そば

のどごしの良いそばに、贅飾

ベースのつゆ、小エビの入ったかき揚げ天ぷらで、赤いきつねうどんと共にカップ麺を牽引する商品です。今年8月に北海道限定品が仲間入りしました。

### 1992

DEBUT

NOW



麺づくり

ノンフライ麺特有のなめらかで

コシのある食感と、すっきりした味わいのスープが幅広い層のお客様から支持をいただき、ノンフライカップ麺の代表的なブランドに育ちました。



## 会社概要

### 創立

1953年3月25日

### 本社

〒108-8501

東京都港区港南二丁目13番40号

電話 (03)3458-5111(代表)

### 資本金

189億6,952万円

### 従業員数

2,302人

### 事業所数

支店・営業所 28、  
冷蔵庫 15、工場 8

### 関係会社

31社(海外9社含む)

## 役員(2014年9月30日現在)

代表取締役会長	堤	殷
代表取締役社長	今村	将也
専務取締役	吉野	廣治
常務取締役	山本	和夫
常務取締役	三浪	博行
常務取締役	住本	憲隆
取締役	及川	雅晴
取締役	藤谷	忠
取締役	沖	斉
取締役	豊田	勉
取締役	真喜屋	理恵子
社外取締役	浜田	とも子
取締役	高橋	清
取締役	石黒	勝彦
取締役	角	忠
常勤監査役	山下	透
常勤監査役	南	守之
社外監査役	高良	明
社外監査役	森	勇

## 支店・営業所

- ◆北海道支店 (旭川営業所、函館営業所、帯広営業所)
- ◆東北支店 (仙台営業所、青森営業所、盛岡営業所、秋田営業所、福島営業所、山形営業所)
- ◆信越支店 (新潟営業所、長野営業所)
- ◆北関東支店 (栃木営業所、茨城営業所、群馬営業所)
- ◆東京支店 (東京営業所、千葉営業所、埼玉営業所、神奈川営業所、甲府営業所)
- ◆静岡支店
- ◆名古屋支店 (金沢営業所)
- ◆大阪支店
- ◆中四国支店 (中国営業所、四国営業所)
- ◆福岡支店 (沖縄営業所)

## 冷蔵庫

- ◆札幌第二冷蔵庫
- ◆札幌第三冷蔵庫
- ◆石狩冷蔵庫
- ◆大井埠頭冷蔵庫
- ◆平和島冷蔵庫
- ◆城南島冷蔵庫
- ◆東扇島第一冷蔵庫
- ◆東扇島第二冷蔵庫
- ◆東扇島第三冷蔵庫
- ◆名古屋冷蔵庫
- ◆中部物流センター
- ◆神戸冷蔵庫
- ◆舞洲冷蔵庫
- ◆福岡冷蔵庫
- ◆佐賀冷蔵庫

## 工場

- ◆北海道工場 ◆関東工場 ◆埼玉工場 ◆相模工場 ◆焼津工場 ◆田子工場 ◆神戸工場 ◆福岡工場

## 主要グループ企業

### 国内連結子会社

- ◆八戸東洋株式会社 ◆甲府東洋株式会社 ◆フクシマフーズ株式会社
- ◆宮城東洋株式会社 ◆株式会社酒悦 ◆新東物産株式会社
- ◆伊万里東洋株式会社 ◆株式会社フレッシュダイナー ◆株式会社東京商社
- ◆埼玉東洋株式会社 ◆湘南東洋株式会社 ◆ユタカフーズ株式会社
- ◆銚子東洋株式会社 ◆スルガ東洋株式会社 ◆ミツワデイリー株式会社 ◆株式会社シマヤ

### 海外連結子会社

- ◆MARUCHAN, INC. ◆MARUCHAN VIRGINIA, INC. ◆MARUCHAN TEXAS, INC.
- ◆MARUCHAN DE MEXICO, S.A. DE C.V. ◆SANMARU DE MEXICO, S.A. DE C.V.
- ◆PAC-MARU, INC.

### 非連結子会社 他

- ◆ヤイズ新東株式会社 ◆東和エステート株式会社
- ◆海南東洋水産有限公司(中国) ◆湛江東洋水産有限公司(中国) ◆青島味豊調味食品有限公司(中国)
- ◆仙波糖化工業株式会社\* ◆下田東水株式会社 ◆株式会社いらご研究所
- ◆ヒガシマルインターナショナル株式会社 \*持分法適用関連会社



## 株式の状況

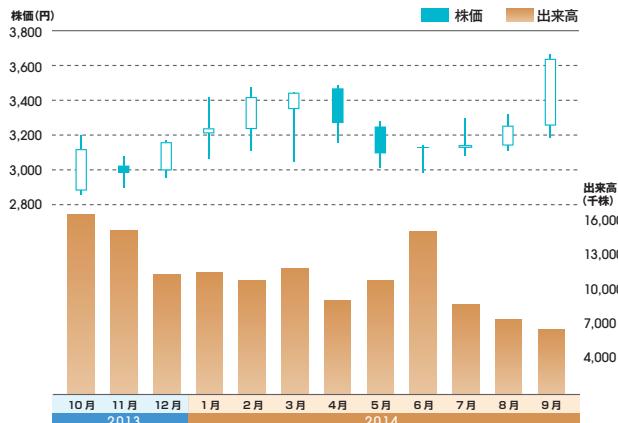
発行可能株式総数…………… 427,000,000 株  
 発行済株式総数…………… 110,881,044 株  
 株主数…………… 5,146 名

## 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	4,202	4.11
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー-505223	3,361	3.28
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	3,237	3.16
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) SUB A/C NON TREATY	3,151	3.08
株式会社三井住友銀行	2,935	2.87
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,731	2.67
BBH FOR MATTHEWS ASIA DIVIDEND FUND	2,615	2.55
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	2,600	2.54
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	2,070	2.02
一般財団法人東和食品研究振興会	2,067	2.02

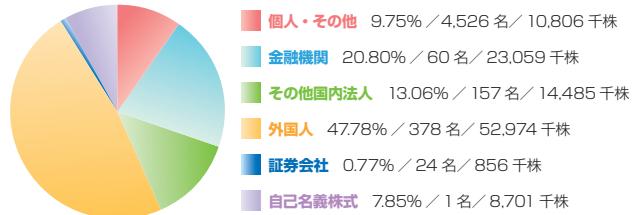
(注) 出資比率は自己株式(8,701,133株)を控除して計算しております。  
 (注) 出資比率は小数点以下第2位未満を四捨五入して計算しております。

## 株価及び売買高の推移 (東京証券取引所)



## 株式分布状況

### 所有者別



### 所有株数別



## 株主優待制度



3,000円相当の製品例

当社では、株主の皆様への利益還元策の一環として、ご所有の株式数に応じて当社製品の詰め合わせを進呈する株主優待制度を導入しています。

今年につきましては、3月末現在、1,000株以上ご所有の株主様に対し3,000円相当の当社製品を、3,000株以上ご所有の株主様に対し5,000円相当の当社ならびに当社グループ会社の製品を、それぞれ6月に進呈させていただきます。

## ●株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	期末配当は3月31日 中間配当を行う場合は9月30日
公告方法	電子公告 ただし電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 アドレス <a href="http://www.maruchan.co.jp/">http://www.maruchan.co.jp/</a>
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および 全国各支店で行っております。
単元株式数	100株 ※平成26年10月1日付で、1,000株から100株に変更いたしました。
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)

## ●株式に関する各種手続きについて

### ・住所変更、単元未満株式の買取、配当金受領方法の指定等

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### ・特別口座から証券会社の口座への振替申請

特別口座の株式については、単元未満株式の買取請求を除き売買ができません。売買を行う場合は証券会社の口座への振替が必要になります。お手続きの詳細は、上記「株主メモ」記載の電話照会先にご確認ください。

### ・未払配当金の支払請求

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### ゆうちょ銀行の貯金口座で配当金をお受取りいただけます

配当金の振込先として、銀行等の預金口座に加えて、ゆうちょ銀行の貯金口座もご指定いただけます。

希望される場合は、株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

**TOYO SUISAN**  
**東洋水産株式会社**

住所 〒108-8501 東京都港区港南二丁目13番40号  
TEL (03) 3458-5111 (代表)  
ホームページ <http://www.maruchan.co.jp/>



本冊子は、環境保全のため  
再生紙を使用し、植物油インキで  
印刷しています。

## 産業廃棄物削減の取り組み

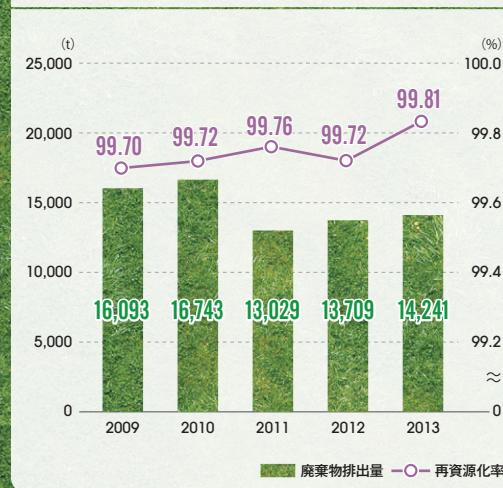
当社では地球環境に配慮し、産業廃棄物の発生抑制・分別の徹底・有価物化を推進し、排出量の削減に努めております。

一例として、埼玉工場では排水を浄化する際に発生する汚泥を乾燥し、肥料として外部業者に引き渡すことで廃棄物を再利用しています。

こうした取り組みにより、新たなグループ会社に加わったことなどに伴う排出量の増加を抑えています。また、再資源化率は、当社が目指している99.5%以上を継続的に維持しています。

今後も、更なる廃棄物削減・再資源化率向上に引き続き取り組んでまいります。

産業廃棄物排出量と再資源化率の推移 (国内事業所)



● 再資源化率 =  $1 - (\text{最終処分処理量} \div \text{産業廃棄物排出量})$   
※ 2013年度より対象範囲に株式会社シマヤを追加